



慟哭 故西田 早苗先生

三篠地区社会福祉協議会
副会長 若宮 登

まさに青天の霹靂とはこういうことを指すのでありましょう。平成24年3月7日 前三篠地区社会福祉協議会会長 西田早苗氏の訃報に接し、茫然自失、痛恨の極みでありました。

近年地域社会の連携づくりが困難であるといわれる中で、先生は平成8年4月に高原正直会長の後任として、会長に就任され、平成16年3月までの4期8年間会長として、地域一丸となってみんなで支え合い、安心して暮らせる三篠のまちづくりを積極的に推進されてきました。

先生は長年の崇徳高校校長(春の選抜高校野球大会では全国制覇)、広島市農業協同組合役員などの経験を通じて、横川地区地域振興策として、レトロバス(現かよこバス)の復元、4代目宗箇松の復元、三篠公民館新築、横川駅改良工事など、町おこし・地域おこし事業への貢献は数えきれません。

私どもは、故西田先生のご功績に対し、敬意と感謝の念を捧げると共に「私は死ぬまで三篠の発展に尽力する」というご意志を受け継ぎ、私たちのまち「三篠」の発展に微力ながら全力で寄与することをお誓いし「ありがとうございました ゆっくり休んで下さい」と申し上げます。

合掌

表彰おめでとうございます

永年の社会福祉活動に対し、表彰を受けられました

三篠社会福祉協議会被表彰団体・者(敬称略)

全国社会福祉協議会会長表彰
三篠地区社会福祉協議会

広島県社会福祉協議会会長表彰
若宮 登さん(地区民児協会長)

広島市西区社会福祉協議会会長表彰
武内 健二さん(三篠地区社協副会長 楠木町1丁目町内会長)

広島市公衆衛生推進協議会会長表彰
溝口 広治さん(地区公衛協代議員)
土井 寛さん(地区公衛協推進員)

広島市公衆衛生推進協議会、広島市長表彰
元安チヅコさん(中広町3丁目)
谷元 守さん(中広町3丁目)



三篠地区社会福祉協議会 役員名簿 (平成24年度)

役職	部署名	氏名(町内会長等)	
会長		水戸川 旭	
副会長 理事	総務部長		
	交通防犯部部長	妹尾 明義(山手町町内会長)	
	公衆衛生部代議員		
	総務部副部長	武内 健二(楠木町一丁目町内会長)	
	総務部副部長	黒田 定明(三篠町二丁目町内会長)	
理事	民生部部長	若宮 登(地区民児協会長)	
	総務部副部長	桑原 量(竜王町町内会長)	
	公衆衛生部部長		
	経理部部長	和田 吉雄	
	交通防犯部副部長	山口 孝(横川町三丁目町内会長)	
	交通防犯部会計	渡部 幸男(中広町三丁目町内会長)	
	地域福祉推進委員		濱田 修二(三滝観音台町内会長)
			久保田 守(地区福祉推進委員)
			西田 稲造(打越町町内会長)
	町内会長		品川 勝造(三滝本町二丁目町内会長)
			登 勝掬(三滝町町内会長)
			沖田 清輔(横川町二丁目町内会長)
			松前 卓三(三滝本町一丁目町内会長)
			寺岡 武(三篠町一丁目町内会長)
			横山 卓二(横川新町町内会長)
		原 千代子(スカイプラザ横川自治会長)	
		馬場 伸之(横川町一丁目町内会長)	
理事		体育部部長	滝山 瑞枝
		防災部部長	矢野 正登
	子ども育成部部長	中江 正彦	
	青少年育成部部長	小田 房雄	
	老人福祉部部長	熊野 博	
	女性部部長	高田 清子	
	母子福祉部部長	宮本千鶴子	
	更生保護部部長	鈴木 健一	
	広報部部長	三好 康之	
	小学校PTA会長	星野 哲郎	
監事		高津 明伸	
		馬場 伸之	

編集後記

「三篠のふくし通算21号」は三篠地区社会福祉協議会会員の皆様の日常活動の一端を紹介する内容を中心に編集いたしました。

今号は、三篠社協の年間活動方針、各部の事業・活動報告、町内会の活動報告など、三篠地区に密着した記事となりました。昨年度から広報部員が2名増員(栗栖・森島)となりました。会員の皆様からの原稿や忌憚のないご意見、感想をお寄せ下されれば幸いです。

(広報部広報委員会 代表 三好康之)

第21号

社協 三篠のふくし

平成25年1月1日発行

<編集・発行>

三篠地区社会福祉協議会

<事務局>

〒733-0002 広島市西区楠木町一丁目14-10-601
電話(082)292-0400
編集発行人 水戸川 旭
広報委員 三好 康之



新しい年を迎えて

三篠地区社会福祉協議会
会長 水戸川 旭

新年あけましておめでとうございます。

平素は、三篠地区社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

私たちの居住している広島は、昨年、災害、事故および大事件などもなかった平穏な一年であったと安堵しております。

ご報告が遅れましたが、平成24年11月16日東京の日比谷公会堂で開催された「全国社会福祉大会」で、広島県を代表して、三篠地区社会福祉協議会が全国社会福祉協議会会長表彰を賜りました。これは、平素から福祉の町づくりを推進している地域社会の活動が高く評価されたものと思います。地域の皆様共々喜びたいと思います。

地区社協の一年の活動を振り返りますと、社協に属する各部、各団体が実施する行事(とんど。ファミリーウォーキング、町民親善大運動会等々)については、関係の皆様方のご尽力・ご協力のお陰を持ちまして、参加者も前年を上回る成果を上げることができました。また、社会福祉協議会の運営、活動に関しても、各町内会長、各部会および各種団体等の関係の皆様方のご尽力・ご協力のお陰を持ちまして、初期の成果を上げることができ、ご関係の皆様方に心から感謝申し上げます次第です。

社協に関連する行事としては、広島市水道局が設置を推進する「デザインマンホール」設置地域として横川地区が指定された機会に「かよこバス」に関する行事を計画・実施しました。8年前の横川駅整備事業に関連し、可部に嫁入りしたかよこの里帰りの手土産として「かよこバスをデザインしたマンホール」を横川駅周辺に設置する設置式を計画・実施しました。(関連記事3ページ)



続いてさらなる町づくりについて話し合った結果、広島で最初の「なでしこリーグ」参入を目指す女子サッカーチームを作ることになり、平成23年12月にNPO法人「広島横川スポーツカルチャークラブ」が設立され、監督に森下聖二氏を迎え、横川発の広島市民のみんなが応援するチーム「アンジュヴィオレ広島」が誕生しました。地域の皆様の応援・賛助、協力をお願いいたします。(関連記事2ページ)

私たちは、地域は一つ、三篠地区は一つを合い言葉に「みんなで支え合う最高のまち三篠」を目指し、皆様と共に奉仕の汗を流しましょう。

平成25年も地域の皆様益々健康で実りのおおい充実した一年になりますことを心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。感謝!



地域で、地域が育てる子どもたち

広島市立中広中学校
校長 佐々木 寛

平素より、中広中学校の生徒が地域の方々に大変お世話になっております。感謝申し上げます。中広中学校は、学校・家庭・地域のトライアングルの中でこそ、健全な心身の育成ができるものと考えております。これまでも、地域行事とのコラボレーションを地域のご協力のもと、推進させていただいているところです。

この夏、文部科学省の審議会である、中央審議会から教員の資質能力の向上方策に関する答申が出されました。その中に、これからの社会と学校に期待される役割について、次のようなくだりがあります。「21世紀を生き抜くための力を育成するため、これからの学校は、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力の育成等を重視する必要があります。これらは、様々な言語活動や協働的な学習活動を通じて効果的に育まれることに留意する必要があります。さらに、地域社会と一体となった子どもの育成を重視する必要があり、地域社会の様々な機関等との連携の強化が不可欠である」

この指摘は、本校がこれまで実施してきた取組みにも深く関連するものとなっております。

こうしたことから、地域の教育力への期待は大きいものがあります。春夏秋冬を通じて子どもたちの健全育成のために、これからも共に手を携えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

※太字・下線は執筆者による



一般家庭用消火器の悪質な訪問販売に注意を!!

防災部部长 矢野 正登

消火器の破裂事故による死傷者の発生等に対処するため、消火器の標準的な使用期限や消火器を廃棄するときの連絡先等の安全上の注意事項について、消火器に表示することが義務づけられた、「消火器の規格省令等の改正(平成23年1月1日)」を理由に、一般家庭用消火器の悪質な訪問販売がふえています。

特例省令によると、現に存する防火対象物又は危険物製造所等、新築等の工事中の防火対象物又は危険物製造所等に設置されている消火器で、改正前の規格省令による型式承認を受けているもの(旧規格消火器という)は、施行日(平成23年1月1日)より11年間(平成33年12月31日まで)は消防用設備等の基準に適合しているものとし、引き続き設置することができます。そのため、一般家庭用の消火器は、旧規格消火器を新規格消火器との取り換えや、耐圧性能点検の義務はありません。

「あなたの家の消火器は、基準に適合していません。」「耐圧点検をしていないので、買い換えが必要です。」などと巧みな話術で、消火器を高額で訪問販売したり、点検を行ったりする悪質な業者がいます。消防署では、職員が訪問販売や耐圧点検を一切行いませんので、ご注意ください。

これらの件で問い合わせをする場合は、**広島市西消防署予防課 電話(082)232-0381(代)**をお願いします。

住宅用消火器

■注意事項等の追加

- 住宅用消火器である旨
- 使用時の安全な取扱いに関する事項
- 維持管理上の適切な設置場所に関する事項
- 点検に関する事項
- 廃棄時の連絡先及び安全な取扱いに関する事項

■適用する火災の絵表示は変更なし

普通火災(油)	天ぷら火災(油)
ストーブ火災(油)	電気火災(油)

今、三篠児童館では

三篠児童館 館長 鈴木 哲子

「遊びを通じて児童の健全育成」を目的としている児童館は、小学生・中学生であれば、だれでも自由に遊べる「子どもの城」です。

児童館は、季節行事やイベントを通じての仲間づくり、プレゼント工作、児童館まつり、マジックショー、パントマイムショー、おたのしみ会などなど、子どもたちが行ってみたいと思えるような行事を企画して待っています。

仲間と共にあそぶ、卓球やドッジボール遊び、ひとり一人の努力・練習で楽しくあそべるけん玉やこま遊び、ジグソーパズルやタングラム、手作りパズル、メイズなどの頭脳遊びがいっぱいあります。

メイズとは、迷路遊びを完成させ浮き上がった絵を当てる遊びで、子どもたちは1年間で、「あ」~「ん」までの絵柄にチャレンジしています。月ごとに決められたメイズを完成させ、コツコツとがんばり続け、全

円完成させた児童もいます。すばらしいと思います。一度児童館に遊びに来てみて下さい。

児童館の2Fスペースには、放課後の時間を一緒に過ごす留守家庭子ども会(利用は1年間の登録制)があります。子どもたちは児童館に遊びに来た地域の子どもたちと一緒に元気に遊びまわっています。

児童館は、三篠小学校校長先生、諸先生に見守られ、そして三篠児童館母親クラブの会員の皆様方、地域の皆様方のご支援・ご協力をいただき、地域に根ざした活動ができていますことを、心から感謝しております。



子どもたちが安心して遊べる居場所づくりを職員一丸となり努力してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いします。

「アンジュヴィオレ広島」をつくったまち止まらない横川人気質

横川商店街振興組理事長 村上 正

昨年号でも特報でお知らせいたしましたが、サンフレッチェ広島のサポートタウンとして、サッカーに縁の深かった横川の町に「広島横川スポーツカルチャークラブ」が結成されました。同クラブは横川を中心に、子ども会など地域住民約40名で構成され、商店街や地域のイベントに参加したり、小学生女子対象のサッカースクールを実施したりしています。

遂に同クラブは「なでしこジャパン」のW杯優勝と時期を同じくして、平成24年3月女子サッカーのプロチーム「アンジュヴィオレ広島」を結成しました。

横川で生まれ、横川育ちの女子プロサッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」は、平成24年の広島県リーグAで全戦全勝し、上部ステージの中国リーグに昇格しました。

練習は三篠小学校を中心に、夜間行っています。町で生まれたサッカーチームが「なでしこリーグ」を目指す。期待に胸が高鳴ります。皆様方の心からの応援をお願いいたします。試合スケジュールや結果、イベント予定などは、公式ホームページに随時アップされています。



紫の天使「アンジュヴィオレ広島」の選手団

かよこの里帰り 手土産は「かよこバスデザインのマンホール」

かよこバス活用委員会事務局長 山口 孝

皆さんご存知ですか? 広島市横川の町、大学、国土交通省・市および地域企業の皆さま方のご協力により、広島市公文書所蔵館にあった100年前の一枚の写真から見事に復元された「かよこバス」が、町のシンボルとして地域の皆さまに親しまれ、横川の駅前に鎮座して、かれこれ10年が経ちます。このバスは、町の賑わい創りとして横川を元気にしてくれました。今では県外でも日本初の乗合自動車として知られるようになり、南は熊本、東は香川県へと出向いて、横川の町を大いにアピールしてきました。広島かよこバス活用委員会では、国産車両による初の路線バス(横川一可部間)が広島市で運行を始めた日(1905年2月5日)を「かよこバスの日」と決めました。

今回特別イベントとして、平成24年2月に、「かよこの里帰り」および「手土産万宝留設置式」を計画しました。

この物語は、2005年9月に横川駅であったイベントで、かよこバスに乗って可部に嫁いだ横川のまちおこしキャラクター「かよこ」が、6年5カ月ぶりに可部の伝統産業である鑄物のマンホールのふたを手土産に里帰りをする設定です。

4日は「かよこバス」が子どもたちの歓声を乗せて可部明神公園内を走り回るなど諸々のイベントの後、安佐北区可部地区若衆約50人が行列をなして、西区のJR横川駅までの15キロを、おもて面に当時のバスをデザインした鑄物製マンホール(約50kg)を御輿に仕立て、交代で担ぎ約5時間歩き、届けてくれました。

5日の「マンホール蓋設置式」では、松井広島市長をはじめ多くのご来賓を迎え、中広中学校柔道部員が担ぎ、横川駅構内を一周してお披露目の後、かよこバスがデザインされた「第一号のマンホール」が横川駅前に設置されました。後日、横川駅構内・周辺に30数カ所に設置され、皆さんがご買い物される時や、散歩



中広中学生の演奏に合わせ設置

平成24年 三篠公民館まつり点描



オープニング(大芝小学校プラスバンド)



みささっ子まつり(三篠小講堂)

シリーズ三篠の歴史第(第16回)

三滝路の寺院探訪

老人福祉部 部長 熊野 博

横川駅方面から、太田川放水路の三滝橋を渡り、三滝路坂道を上ると、海雲寺、誓願寺、長安寺、常林寺と寺院が点在する。古くは広島城周辺に建立されていたが、原爆で廃墟と化し、広島市の都市計画により、現在地に移転、再建されたものである。

まず坂道右側に龍興山・海雲寺(曹洞宗、開祖 道元禅師)がある。新川場町(現 中区小町)から移転された寺で、正面本堂右側に巨大な墓石がある。これは浅野藩士 原勘兵衛可政氏の墓で、「地獄極楽の霊樹」の伝説で知られている。

次に100mほどの道程で、紫雲山・光照院・誓願寺(浄



誓願寺の正門

土宗西山派)がある。天正18年(1590)10月15日 毛利輝元公開基で、材木町(現在の平和公園内)から移転された。境内には、昭和天皇お手植えの松や上田宗箇の長女 田辺殿の位牌、4代目宗箇松の弟松が植えられている。

誓願寺前の道路を右折し上ると右側に、久地院・長安寺(浄土宗)、常林寺(浄土宗)がある。長安寺は慶長16年6月15日、福島正則公寄贈により建立された寺で、的場町から移転再建された。常林寺の墓地には、赤穂義士 大石義男次女、瑠璃子の墓がある。